地域高規格道路　一般国道47号

余目酒田道路

余目酒田道路は、新庄酒田間の地域高規格道路の一部を構成し、一般国道7号・47号の渋滞緩和、災害時の緊急輸送路の確保、救急医療体制の充実を図るとともに、庄内・最上両地域の連携強化の促進が期待される道路です。



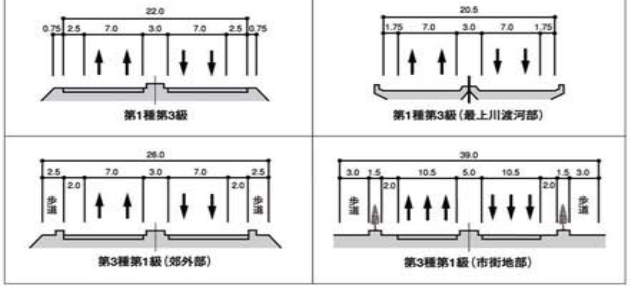
計画諸元

路線名	一般国道47号
区間起点	山形県東田川郡庄内町廻館
区間終点	山形県酒田市東町
延長	L=12.7km
標準幅員	22.0m～39.0m
構造規格	第1種第3級、第3種第1級
設計速度	80km／h

事業経緯

計画路線指定（新庄酒田道路）	平成6年12月
調査区間指定	平成9年9月
整備区間指定	平成11年12月
着工準備箇所指定	平成12年度
地区懇談会	第1回 平成13年10～11月　第2回 平成15年1月 第3回 平成16年9月　第4回 平成17年9月
都市計画決定	平成16年3月23日
環境影響評価評価書縦覧	平成16年3月～4月
事業着手	平成16年度
工事着手	平成18年度

標準幅員



1 現状　最上川渡河部を中心に渋滞が発生

酒田市の市街地へ出入りする交通の多くが、最上川を渡河する必要があり、その路線は国道7号の両羽橋と国道112号の出羽大橋に限られています。そのため、多くの交通がこの2橋に集中して、渋滞が発生しています。

余目酒田道路を整備することにより、当該箇所の渋滞が緩和されます。



最上川渡河部の渋滞状況



大宮交差点渋滞状況

2 現状　庄内町の市街地部で交通事故が多発

庄内町の市街地部では、交差点等における停止車両への追突や沿道出入りに起因する事故が多発しており、庄内地域の中でも事故が多い箇所となっています。

余目酒田道路の整備により、当該区間の通過交通が迂回するため、交通事故が減少し、良好な交通環境が創出されます。



過去5年間の事故発生件数
（庄内町の市街地部の約2km対象）



庄内町の市街地部で進む沿線開発

